

## 地域未来を拓く若人フォーラム in 置賜

# あなたの力で 置賜の豊かな未来を拓く [ステージ発表] ろう!!

日時 令和2年1月11日(土)12:30~16:20

会場 米沢市市民文化会館

趣旨 バブル経済が崩壊した後、長く停滞の時代が続き、加えて少子高齢化と人口減少の影響が表面化する中で、膨大な赤字国債とマイナス金利に依存し続けている。やがて経験しない人口減少が惹き起こすであろう社会の大きな変化が懸念される。この置賜地域にあっても、これから急速に少子高齢化が進み、約21万人の地域人口は2040年には約15万人、高齢化率も41%に達すると言われている。

このような状況の中で、自らの生き方をしっかりとと考え地域に残る、あるいは将来地域に戻り郷土を担うことを選択肢とするような人財育成が求められる。

本フォーラムのパネルディスカッションでは、高校生をはじめとする若人が地域未来に関して公開討論することを通して地域の可能性に関心を持ち、あるいは将来地域を担いたいと考える若者の育成に寄与したいと考えている。

タイムスケジュール 12:30~12:40 … オープニングセレモニー 趣旨説明 実行委員長 種村 信次  
12:50~14:00 …

### I 部 置賜若人と高校生によるパネルディスカッション

テーマ 「若人交流…置賜地域の活力ある未来を目指して」

コーディネーター 山形大学大学院 有機材料システム研究科 卓越研究教授 城戸 淳二氏

パネリスト 6名

米沢中央高等学校 2年	長澤 亜実さん
県立小国高等学校 2年	舟山 未羽さん
県立南陽高等学校 2年	影山 南央さん
県立長井高等学校 2年	二瓶 倭花那さん
NPO法人地域生活支援協会	鈴木 大士さん
米沢市役所米沢ブランド戦略課	佐藤 功児さん

14:00~14:15 … 休憩

14:15~16:00 …

### II 部 地域と係わる探究型学習成果発表会

変わる高校教育「探究型学習とは?」がわかります

16:00~16:15 … 講評 城戸 淳二氏

16:20 … 閉会

# [展示] 地域と係わる探究型学習成果パネル(ポスター)展示

置賜地区全域の高等学校の特色ある教育がここでわかります  
米沢市内中学校の魅力的な探究型学習も展示されます

日時

令和2年1月11日(土)~19日(日)

会場

ナセBA市民ギャラリー

若人フォーラム探究型学習ポスター、パネル展示一覧

参加校		展示パネル、ポスターの内容
1	<b>山形県立 米沢興譲館高校</b>	展示するポスタータイトルは次の通りです。様々な研究領域から地域の課題解決の糸口を見つけようと試みています。 「商品開発による地域振興計画」、「住みよさから見る地域活性化条例」、「既存製品を用いた米沢活性化計画」、「米沢の経済を担う!」、「山形県庄内地方、小国地方、内陸地方の方言の相違についての探究」、「リーディングスキルテストからみる学習意識と読解力の関係性」、「高校生の“ワクワク”向上させる授業形態」、「ウコギの苦味とポリフェノールの相関関係」、「玉庭丘陵の過去を探り、成島丘陵との関連性を突き止める」、「デロビブリオ属細菌を活用した無農薬野菜の可能性」、「ユニバーサルな飲料用缶を」
2	<b>山形県立 米沢東高校</b>	課題探究学習i-Seeプロジェクトや授業で取り組んでいる研究です。テーマは、「地域に育まれた伝統芸能をいかに継承すべきか」、「ユニバーサルなまちづくりをめざして」、「図書館を中心とした地域活性化」です。
3	<b>山形県立 米沢工業高校</b>	学校紹介および機械生産類、電気情報類、建設環境類での取り組みや歴史についての紹介、各類での課題研究における研究成果を発表します。
4	<b>山形県立 米沢商業高校</b>	●米沢青年会議所と提携した新しい音楽イベント「YONEROCK」の企画と、今後の運営等について、資料にまとめて紹介します。 ●「山形日和。」1day trip+コンテストの最優秀旅行企画を活用した台湾におけるプロモーション活動について、資料にまとめて紹介します。 ●「家庭研究部」の活動の一環として料理コンテストにチャレンジしてきました。応募したレシピの紹介です。
5	<b>山形県立 置賜農業高校</b>	プロジェクト(探究型)学習で取り組んでいる「豆ガールズの活動」「畜産(乳牛)の研究」「高品質シクラメン栽培の研究」「空気浄化スーパー植物(ニオイ木)の研究」「ダリアのウイルスフリー化による高品質生産の研究」について紹介します。
6	<b>山形県立 南陽高校</b>	①南陽高校の学校紹介パンフレット「2020 NANYO HIGH SCHOOL GUIDE」です。 ②10年後の魅力と未来を追究した「南陽未来新聞」(南陽市SUMMER IDEA CAMPで作成)を紹介します。
7	<b>山形県立 高畠高校</b>	①1年次「産業社会と人間」における探究活動成果。グループごと様々な地域学習を通して気づいた地域の課題を設定し、調査を行いました。 ②3年次課題研究。個人研究で、自分でテーマを設定し、探究活動を行った成果を発表します。

	参加校	展示パネル、ポスターの内容
8	<b>山形県立 長井高校</b>	山形県探究型学習課題研究発表会に出場した、2年次探究コースと一般コースの7つの班による研究ポスターです。それぞれの発表タイトルは、①「やさしさの度数EQチェック」、②「Motivation UP!」、③「みんなが幸せになるメディアの使い方をしよう」、④「コミュニケーション手段の変遷と私たちの関わり」、⑤「風洞実験装置の自主製作」、⑥「エナジードリンクの効果」、⑦「部活動改革と学習の関係」です。 研究ポスターだけでなく、補助資料(データや調査で使用した物品など)も机上に展示しますので合わせてご覧ください。
9	<b>山形県立 長井工業高校</b>	本校では、各科から選抜された優秀な研究活動を、全校生を対象にプレゼンする課題研究発表会を実施し、まとめる力や課題解決力を養っています。その発表ポスター、及び地域と密着した本校教育活動を紹介するポスターを展示します。
10	<b>山形県立 荒砥高校</b>	●学校紹介 ●小規模校サミットに参加して ●2年次就業体験について ●家庭クラブ ①取り組み紹介 ②身につけよ段取り力～効率よい調理技術と作業導線～ ●保健委員会 ①ゲートウェイドラッグ ②市販薬乱用 ③身边に潜む薬物 ④きれいな空気で健康白鷹
11	<b>山形県立 小国高校</b>	私たちは地域に浸りながら、「挑め、ともに!」をモットーに楽しく実践的な探究活動をしています。「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の「白い森未来探究学」では、1年生が小国町探検について報告書にまとめ、町内に折込配布しました。その他に、山形県探究型学習課題研究発表会で入賞した「小国町に全国の高校生を呼んでみたら、あれもこれも自分事になって、やる気が湧いて地域との活動が72に増えた件」や、保健環境委員会の「QOS(クオリティ・オブ ▶ 掃除)」などの個性溢れるポスターをご紹介します。
12	<b>私立 九里学園高校</b>	●地域との協働による高等学校教育改革推進事業学校プロジェクト取り組みについて ●(1年)「食と健康」「多文化共生」「子どもの貧困」について ●(2年)「フェアトレードと倫理的消費について」
13	<b>私立 米沢中央高校</b>	●学校紹介(本気の中央)…1枚 ●環境問題…3枚 ・全校課題学習「地球温暖化とごみ問題」…2枚 ・グループ課題学習「地球温暖化について身近なものから考えてみよう」…1枚 ●数学課題研究 グループ活動より「ドラえもんの秘密」…2枚
14	<b>米沢市立 第一中学校</b>	米沢一中の1学年では、9月に米沢めぐりと題して米沢の史跡や観光名所をグループごとに訪問し、米沢名物を食す学年行事を行いました。その際に興味を持った米沢の歴史、食文化、観光などについて一人一人課題を設定し、調べ学習を行い、ポスターにまとめました。
15	<b>米沢市立 第三中学校</b>	1年生の総合学習で「地域に学ぶ活動」を通して取り組んだ「やってみ隊」「米沢めぐり」「中学生デザイン選手権」等成果をポスター5枚にまとめました
16	<b>米沢市立 第七中学校</b>	本校は「生きる」～今、そして未来の自分を輝かせるため～をテーマに総合的な学習に取り組んでいます。一学年では、「米沢学」に取り組みました。私たちが暮らす米沢(上郷・万世地区)の自然・歴史・企業などを学習したことのまとめとして作成した「個人新聞」を展示します。

## 主催：公益社団法人 米沢有為会

共催：置賜地区高等学校校長会、米沢市教育委員会

後援：置賜総合開発協議会、米沢商工会議所、学園都市推進協議会、米沢・置賜経済人クラブ、公益財団法人米沢上杉文化振興財団、公益財団法人近野教育振興会、米沢信用金庫、山形新聞・山形放送、米澤新聞社、(株)ニューメディア

## [ステージ発表]

1	山形県立米沢商業高校	タイトル: 持続可能な地域活性化活動を目指して	
発表者	井上 朝 安部 紗弥香 熊谷 望 平山 ことみ	発表概要	米沢市には「館山りんご」がありますが、毎年「色つや」が悪いとか、傷があるなどの理由で廃棄される「規格外」が出ます。その規格外品のりんごを使った商品を開発し、それを館山リンゴのPRに活用する活動に取り組みました。そうして出来上がった商品が「りんごっっちゃドレッシング」という商品です。このドレッシング開発まで、商品完成まで、完成後の流通などについて一連の流れを紹介したいと思います。
2	山形県立米沢東高校	タイトル: 食品庫の危険なカビをやっつけろ!! ~家族の健康を守る~	
発表者	佐藤 希 酒井 那奈 内藤 咲瑛	発表概要	猛暑の影響で食品庫の壁に黒カビ発生。家族の健康を守るために、除去対策に取り組みました。「マゼルナキケン」の表示を参考に、科学的に効果を比較検討し、カビが発生しにくい環境づくりを探究しました。
3	九里学園高校	タイトル: オーガニック食品で地球を救う	
発表者	高橋 蒼	発表概要	オーガニック食品を流通させることにより、地球環境問題を解決する糸口をつかむことができるかを考えます。宮城県のオーガニックレストランやフィリピン、ハワイ等での現地調査を通し、食品流通の具体的方策を提案します。
4	山形県立米沢興譲館高校	タイトル: 商品開発による地域振興計画	
発表者	遠藤 理央 黒金 創一郎 黒田 陽史 鈴木 詩織	発表概要	平和通商店街の活性化をはかるため以前から交流のあった新潟県立国際情報高校とともに、商品開発及び企画の構想を行いました。原価も店に直接出向いたり、電話で聞き取りしました。また、道の駅で観光客向けに行ったアンケートの結果から、具体的な商品として両市の特産品を用いた牛丼、アイス(愛ス)、鯉丼(恋丼)、ます鯉丼(must恋丼)を考案しました。
5	山形県立米沢工業高校	タイトル: 「コトづくりからモノづくり」の学習をベースとした「ヒトづくり」学習	
発表者	我妻 花音 我孫子 みなみ	発表概要	「コトづくりからモノづくり」までを学ぶ生産デザインコースにおいて、デザイン思考を活用した探究的学習をベースに、工業高校ならではのモノづくり、そして、校外活動【EDGE-NEXT(アントレプレナー教育基礎編)・イノベーションキャンプ<山形大学国際事業化研究センター主催>、デザイン選手権<東北芸術工科大>、米沢市まちづくりプランコンテスト<米沢市教育委員会>、Maker FaireTOKYO2019<株式会社オライリー・ジャパン>、小中学校への出前講座など】を通して学んだことを発表します。
6	山形県立置賜農業高校	タイトル: 置賜農業高校のプロジェクト学習(探究学習)紹介	
発表者	安部 貴音 小川 真奈 井上 桜良 菊地 曜和 井上 千華 金王 美紀 志田 亜美花	発表概要	ダリアのウイルス病対策による高品質栽培に関する研究と多彩なプロジェクト学習(探究学習)を紹介します。